

平成30年度学校関係者評価

1 自己評価及び本校教育活動に対する学校関係者評価委員からの意見

- ・資格取得への取組の成果が顕著である。
- ・資格取得は社会に出てからも自己の強みになるものなので、更にと組を進めて欲しい。
- ・生徒の意欲を更に引き出し、やる気を出させるためにはより具体的な目標を持たせることが必要である。卒業生で各方面で活躍している方を講師に招いて、話をしてもらうのも良いのではないか。
- ・2020 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、障害者や障害への理解を深めさせるための交流活動を教育の中に取り入れてはどうか。
- ・グローバル化社会への対応として、海外留学などを充実させていって欲しい。
- ・環境学習にも積極的に取り組んでいるので、更とその学習を進めると共に、野生動物の獣害などにも理解を深める学習も取り入れると良いのではないか。
- ・J-GAP 認証取得を今後どう継続していくか、結果が問われるので取組を充実させていくことが大切である。

2 学校関係者評価に基づく今後の改善方策等

- ・今後も農業・工業・商業・家庭の全ての専門学科を持つという本校の強みを活かした教育活動を展開して行き、生徒の進路実現を図っていく。それと併せて、基礎学力の定着、家庭学習習慣の定着を図り、あらゆる進路に対応できる学力を身につけさせる必要がある。大学入試そのものも大きく変わることから、普通教科においては、教科ごとに常に授業の改善工夫を行い、授業力向上に向けて「わかる授業」だけでなく「力をつけさせる授業」を実践していく。
- ・本校の重点目標でもある資格取得を更に推進していくために、事前の課外授業などを計画的に展開し、高度資格取得を目指していく。
- ・J-GAP 認証を取得したが、今後は認証取得に満足せず、日常の実験や実習を充実させ、より高いレベルでの農業教育を推進していく。
- ・グローバル化がすすむ社会への対応として、英語検定をはじめとする資格取得をより推進していくと共に、海外研修や留学などの機会を数多く生徒に提供していく。